

『新年にあたって』

野幌若葉自治会 会長 小田島 篤

明けましておめでとうございます。若葉自治会会員の皆様方のご家庭におかれましては、健康で安らかな新年をお迎えのことと存じます。

さて、昨年を思いおこせば新年早々から、中国の武漢で流行りの肺炎が猛威を起しているとのニュース速報から、それが新種のウイルスによる病気で人から人へと感染する危険な物である……。たちまち全世界に蔓延し昨今のパンデミックの大混乱へ至りました。ワクチンが出来たとの良い情報も入りますが、未だ終息の筋道すら描けないのが現状でございます。

この様な中で、若葉自治会の活動も拠点となる若葉自治会館の長期にわたる休館などを含め、一部の基本的活動を除き自粛・休止状態が続いております。

会員の皆様には多大なご迷惑をお掛けすることになりましたが、これも会員各位及びご家庭の皆様の健康を第一に考え、世情を十分考慮して致し方ないと考えます。

例年と違う新しいスタイルの2021年お正月からの社会生活、ソーシャルディスタンス、三密回避、手指消毒やマスクの着用など様々な制約、ルールを守りながら新しい形の自治会活動になって行く事も想像できます。会員皆様の一層のご理解ご協力をお願いする事になると思っておりますが宜しくお願い申し上げます。

願わくは新型コロナウイルス禍が一日も早く収束する事、健康で平穏な日々が会員の皆様ご家庭に末永く続くことと存じます。

道民の皆さまへ

<p>いまは、 きよりをとって</p>	<p>手を洗おう</p>	<p>咳エチケット</p>	<p>換気をしよう</p>	<p>北海道コロナ通知システムと 接触確認アプリ(COCoA)を 活用しよう</p>
<p>3つの「密」を さげよう</p>	<p>テイクアウトや デリバリーも</p>	<p>オンラインを 上手に使おう</p>	<p>いまは、小声で</p>	<p>正しく理解し 思いやりある行動を</p>

はじめよう、つづけよう。「新北海道スタイル」

『令和2年度 野幌若葉自治会 第1回組織見直し委員会開催』

10月17日（土）

1. 会長挨拶

本年度は、新型コロナウイルスの影響で十分な活動が出来なかった。文化祭などが中止となり、非常に残念である。現在、会計部長が不在の状態であり、皆で知恵を出し合って解決していきたい。

2. 議事

各事業部の見直し対応について

①総務部：会計部長を選任しない場合は、総務部付会計担当副部長を1名選任頂きたい。

②会館運営部

- ・部長と副部長の2名体制で問題はない。一般協力金の対応は区長にお願いしているが、各区の役割分担はお任せします。
- ・ロビーにある協力者名簿の掲示を中止したい。（個人情報の問題、掲示スペースの問題）今後は、管理簿のみで管理したい。

③生活安全部

- ・部長と副部長の2名体制で問題はない。現状の活動内容であれば、各区の部員は必要はない。
- ・活動内容は、交通・生活安全二種類の旗を管理（約50か所、取替・購入）、地域安全ニュース配布になります。夏祭りの警備は、実行委員会で対応。防災訓練は、防災会で対応。
- ・各区に地域の安全のため、「若葉子供見守り隊」の協力員として参加をお願いしています。

④環境部

- ・部長と副部長の2名体制で問題はない。
- ・花壇づくり、防犯灯・公園・ごみステーションの管理業務があり、区長だけでは負担が大きいと感じている。区内で担当者を決めて活動していただきたい。
- ・各区の業務の引継ぎが出来ていないと感じる。環境部会（環境担当者の意思疎通のため）を年度初めに開催出来たら良いと思う。

⑤青少年育成部

- ・各区の部員は必要である。夏まつり・夏レクの事業があるため。
- ・行事の募集・取り纏めがあり部員は必要。

⑥社会福祉部

- ・各区の部員は必要である。
- ・社会福祉の精神を、部員の協力で広めていく必要があると考える。

⑦女性部

- ・各区の部員は必要である。
- ・行事の募集・取り纏めがあり、区長の負担を減らすためにも部員は必要。

⑧文化部

- ・事業の見直しを行っているが、各区部員は必要である。

⑨事務局より

- ・組織見直しにより、自治会役員の選出が不要になっただけで、各部の業務が無くなるわけではない。各区の役員数は、区の独自性にお任せします。
- ・各区の選出役員は、原則通り任期2年で運営することで、活動がスムーズになると考える。自治会役員改選の令和4年度に向けて、各区で調整をお願いしたい。
- ・部会を行わないと、事業内容が伝わらない。年度初めに部会を実施する方向で調整したい。

『新型コロナウイルス感染予防に努めよう』

令和2年1月28日に、北海道で初めて新型コロナウイルス感染者が確認され、その後道内の感染者が増え始め、2月26日に北海道知事から小中学校の一斉休校要請、2日後の28日には北海道独自の緊急事態宣言を発表し、道民に週末の外出自粛を要請しました。

野幌若葉自治会としては、北海道と江別市の警戒対応に合わせて自治会館を休館し、地域の感染防止対策に取り組んできました。また、第52回定期総会を最小人数で開催、第1回理事会において今年度の事業は自粛をすることになり、夏祭りや夏レク、文化祭は中止といたしました。

江別市の新型コロナウイルス感染者数は、10月まで9人の感染で維持していましたが、11月の第3波になってからは毎日感染者が確認されており、12月中旬で110人を超え現在も増え続け、誰でもかかる可能性のある感染症となりました。

11月の江別保険センターの資料による感染経路は、飛沫感染・エアゾル感染・接触感染があり、感染経路を断ち切る対策が必要としています。私たち一人一人が気をつけ、自分自身が感染しないように注意することが大切です。

これからの時期は、気温がさがり、室内は乾燥した状態になります。換気が不十分だとエアゾル感染が特に心配され、ウイルスが口・鼻・眼から侵入します。ここをしっかりと守りましょう。

<感染予防のポイント>

- ◇ 手洗いのタイミングは事あるごとにしましょう
- ◇ 手が触れる場所を定期的に消毒しましょう
- ◇ 自宅以外では常時マスクをしましょう
- ◇ 定期的に換気をしましょう



『ペットのマナーについて』

愛犬による、近隣トラブルが多く発生しています。マナーを守って、人も動物も暮らしやすくを心掛けましょう。(江別市生活環境部 愛犬ガイドより)

- ❖ リード(引き綱)をつけ、いつでも制御できるようリードを短く持ちましょう
- ❖ 屋外でブラッシングをする時は、周囲への飛び散りに注意しましょう
- ❖ トイレを済ませてから散歩しましょう
- ❖ 公共の場所や他人の家の前・塀・門付近で排せつはさせない。
- ❖ 糞は必ず持ち帰りましょう
- ❖ 鳴き声に注意しましょう



若葉子供見守り隊 隊員募集!!

「気楽に・気長に・危険なく」をモットーに普段の生活の中で野幌若葉小児童を守る安心・安全活動を続けています。活動に参加したい、興味がある方は、各区長または生活安全部まで気軽にお声掛け下さい。生活安全部 連絡先：野幌若葉自治会館 電話：011-384-4410

『第二回地域交流の集い開催』

社会福祉部

9月26日（土）野幌第一地域包括支援センターの社会福祉士大家さんと保健師白石さんに介護予防のキーワード「フレイル」についてお話をして頂きました。

コロナ禍でも、感染予防+フレイル予防の**栄養**（食事・口腔）**運動**（散歩・筋肉保持）**社会参加**（趣味・人との関わり）に気をつけて、元気でいきいきと生活できる健康寿命を延ばす事の大切さを学びました。また、オーラルフレイル対策のお口の体操も教えて頂き、「あ」「い」「う」「べ～」と27名の参加者も一緒に行ってみました。自宅でも食事の前に行うと「だ液」たっぷり免疫アップになるそうです。

災害時の口腔ケアなどについても教えて頂き、これからの生活に役立つ有意義なお話でした。

（社会福祉部副部長 山本滋子 記）



『第三回地域交流の集い開催』

社会福祉部

今年度最後の「地域交流の集い」を、10月23日（金）に行いました。

地域の高齢者の方など29名の参加があり、江別市成年後見支援センターの平塚さんから「成年後見制度」についてお話を伺いました。まだまだあまり耳慣れない制度ですが、認知症などで判断能力の低下した方の生活を支援し、権利と財産を守るための制度です。

専門用語も多く制度の内容を詳しく理解するのは少し難しそうでしたが、このような制度があることを心にとめて、これからの生活に役立てて頂ければと思います。

コロナ禍の中、お手伝い頂いた民生委員、各区社会福祉部員の皆様ご協力ありがとうございました。

（社会福祉部副部長 山本滋子 記）

